

家庭科(1年) R8 年間指導・評価計画

教科の目的

○家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 ○家族・価値や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを理論的に表現するなど、これからの生活を展望して解決する力を養う。
 ○自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	教科の目的		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	・家庭分野、3年間のガイダンス A家族・家庭生活 1.自分の成長と家族・家庭生活	3	・小学校の学習を振り返り、中学校での学習の目的、内容を確認する。 ① 自分の成長と家族とのかかわり ② 家族・家庭の機能と家庭生活を支える社会のしくみ ③ 多様な家族と家族関係 ④ 地域で活動する高齢者	◆家庭の主な機能とそれを支えるしくみや制度を理解している。 ◆高齢者など地域の多様な人々と協働する必要があることを理解している。	◆家庭を支える仕事について自分なりに何ができるかを工夫することができる。 ◆地域の多様な人々と協働し、よりよい生活の実現に向けての課題の見つけ、中学生として何ができるかを工夫し実践することができる。	◆これからの生活を展望して、生活の課題を解決しようとする姿勢の大切さに気付くことができる。 ◆地域の多様な人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に考え、取り組もうとしている。
5 ・ 6 ・ 7	B衣食住の生活(衣生活) 1.目的に応じた衣服の選択と手入れ 課題と実践	10	① 衣服で伝わるメッセージ ② 自分らしくコーディネート ③ 衣服の構成と和服の文化 ④ 繊維の種類と特徴に応じた手入れ ⑤ 環境に配慮して衣生活	◆衣服の社会生活上のはたらきを理解している。 ◆衣服の構成を理解している。 ◆繊維の種類と特徴を理解している。 ◆取り扱い表示の意味を理解し、適切な手入れの方法がわかる。 ◆和服の文化を理解している。	◆自分らしい着方を工夫することができる。 ◆環境に配慮した衣生活を送るために工夫できることを考えることができる。	◆自分に似合う衣服やTPOを考えた衣服を主体的に考えることができる。 ◆和服の文化に関心をもち、和服の着方について主体的に学ぼうとしている。 ◆環境に配慮した手入れを主体的に取り組み、洗濯機を使用して洗濯を行うことができる。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・学習ノート ・ワークシート ・レポート課題 ・授業観察(発言・質問) ・定期考査	・ワークシート ・レポート課題 ・授業観察(発言・質問) ・定期考査 ・言語活動	・学習ノート ・ワークシート ・レポート課題 ・言語活動 ・授業観察(発言)
9 ・ 10 ・ 11	B衣食住の生活(衣生活) 2.生活を豊かにするために	12	・補修の技能を生かした作品の製作(刺し子のエコバッグ) ① 製作の基礎・基本 ② まつり縫い ③ ミシンの使い方 ④ スナップボタンの付け方	◆製作するものに適した材料や縫い方を理解している。 ◆用具を正しく、安全に取り扱うことができる。 ◆まつり縫いができる。 ◆スナップボタンを付けることができる。 ◆ミシンの基本的な操作を行うことができる。	◆生活を豊かにするための布を用いたものの製作計画や適切な手順を工夫して取り組むことができる。	◆生活を豊かにするための布を用いた作品の製作について計画を立て、手順など改善点を考えて実践しようとしている。
12	B衣食住の生活(住生活) 1.住まいのはたらきと心地良さ 課題と実践	3	① 室内環境整える ② 住まいのはたらき	◆快適な室内環境の整え方を理解し、実践できる。 ◆ダニやカビの防止法、適切な清掃方法を理解している。 ◆住まいの役割やはたらきについて理解している。 ◆住まいの基本的な機能や、間取り図の読み方を理解している。	◆快適な室内環境の整え方を工夫することができる。 ◆自分の住まいを点検し、改善できることを考えることができる。	◆室内環境を整える方法や対策を考えようとしている。 ◆住まいのはたらきや人との関わりについて主体的に考え、自分なりの意見をもつことができる。 ◆自分の住まいを点検し、改善できることを考えようとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・学習ノート ・レポート課題 ・授業観察(発言・質問) ・作品 ・定期考査	・ワークシート ・レポート課題 ・授業観察(発言・質問) ・製作記録 ・定期考査 ・言語活動	・ワークシート ・学習ノート ・レポート課題 ・製作記録 ・授業観察(発言) ・実習の様子
1 ・ 2	B衣食住の生活(住生活) ⑤ 日本の気候風土とすまい	4	③ 生活行為と空間 ④ 心地よい空間の使い方 ⑤ 日本の気候風土とすまい	◆住まいに必要な空間について知り、生活行為が分類できる。 ◆生活の違いによって、住まい方の工夫があることを知っている。 ◆日本の伝統的な住まいが、気候風土に合わせて工夫されていることを理解している。	◆家族の住まい方や空間の使い方を考え、住空間の使い方を工夫することができる。 ◆居心地の良い住まいにするための工夫ができる。	◆住まいを自分ごととして捉え、心地良い空間になるための改善点を考え、意見をもつことができる。
2 ・ 3	B衣食住の生活(住生活) 2.安全で健康な住生活	3	① 家庭内事故 ② 災害への備え ③ 持続可能な住生活	◆家族の安全を考えた住空間の整え方を身に付けている。 ◆災害に備えた室内の安全対策や災害時に身を守るための準備と行動について説明できる。 ◆持続可能な住生活の実現に必要な住まいの工夫があることを理解している。	◆家庭内事故の防ぎ方や安全対策を考えることができる。 ◆減災のための住まいの整え方や命を守るための準備と対策(ローリングストック)について工夫することができる。	◆家庭内事故の要因と対策について考え、自分の住まいを安全に整えようとしている。 ◆避難方法や自助、共助(互助)、公助について自分なりの考えをもち、実践しようとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・ワークシート ・学習ノート ・授業観察(発言・質問) ・定期考査	・ワークシート ・授業観察(発言・質問) ・定期考査 ・言語活動	・ワークシート ・学習ノート ・授業観察(発言)